

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.10 令和4年9月28日 文責 渡邊

## 小さな子供の安全・安心な 毎日を目指して

令和4年9月26日(月)に、桑村小学校の1・2年生を対象に交通安全教室と防犯教室を開催しました。講師は、三島警察署大竹駐在所の高田さんと本校学校応援団会議(コミュニティ・スクール)団長の松井さんが担当しました。

毎朝、7時30分頃、学校の西門前の道路に、高田さんと松井さん、鈴木薫さん、校長が児童の見守りに立ちます。その際、高田さんから、9月11日(日)の三島警察署管内で発生した死亡事故を受け、小さな子供たちに交通安全指導を行いたいという申し出がありました。ちょうど9月21日(水)から9月30日(金)まで、「秋の全国交通安全運動」が展開されている時期です。

当日は、体育館に1・2年生が集まり、始めに高田さんから交通安全の大切なこととお話いただきました。

過去の歩行中の交通事故死傷者数を年齢別に調査したところ、「7歳」の死傷者が突出しているとのことでした。県内でもここ10年の小学生の歩行中の死傷者数は、合計2,588人となっていて、中でも1・2年生だけで半数に達しているとのことでした。事故の状況としては、登下校がほとんどで、交差点やその付近で事故が発生し、その特徴としては、道路を横断中、しかも横断歩道以外の場所を横断中に発生しています。

高田さんからは、交通ルールを守って安全に登校することの大切さを教えていただきました。また、シートベルトの正しい着用についてもお話いただきました。本校は、山の上に校舎があり、天気の良い日は保護者が子供たちの送り迎えをしてくれています。「登下校の際、ランドセルを背負ったままシートベルトをすることはありませんか、事故の際、シートベルトが正しく機能しないでけがをすることがあるのでランドセルは外しましょう。」ということもお話いただきました。

松井さんからは、防犯指導について教えていただきました。登下校中はもちろんのこと、外遊びに出るときにもしっかり注意しなければならないことを丁寧に指導いただきました。防犯の合い言葉「いかのおすし」をみんなで復唱しました。

学校の安全・安心な環境作りは、学校と保護者、地域社会とが連携しなければなりません。これからも指導と見守りから子供たちの安全・安心な毎日を大切にしていきたいです。



【高田さんと松井さんのあいさつ】



【交通ルールを守ろう】



【自分の身をしっかりと守ろう】



【これからも気をつけて  
生活しようね】